

データヘルス計画書
—平成28年度版 見直し計画—



平成29年3月
川西市

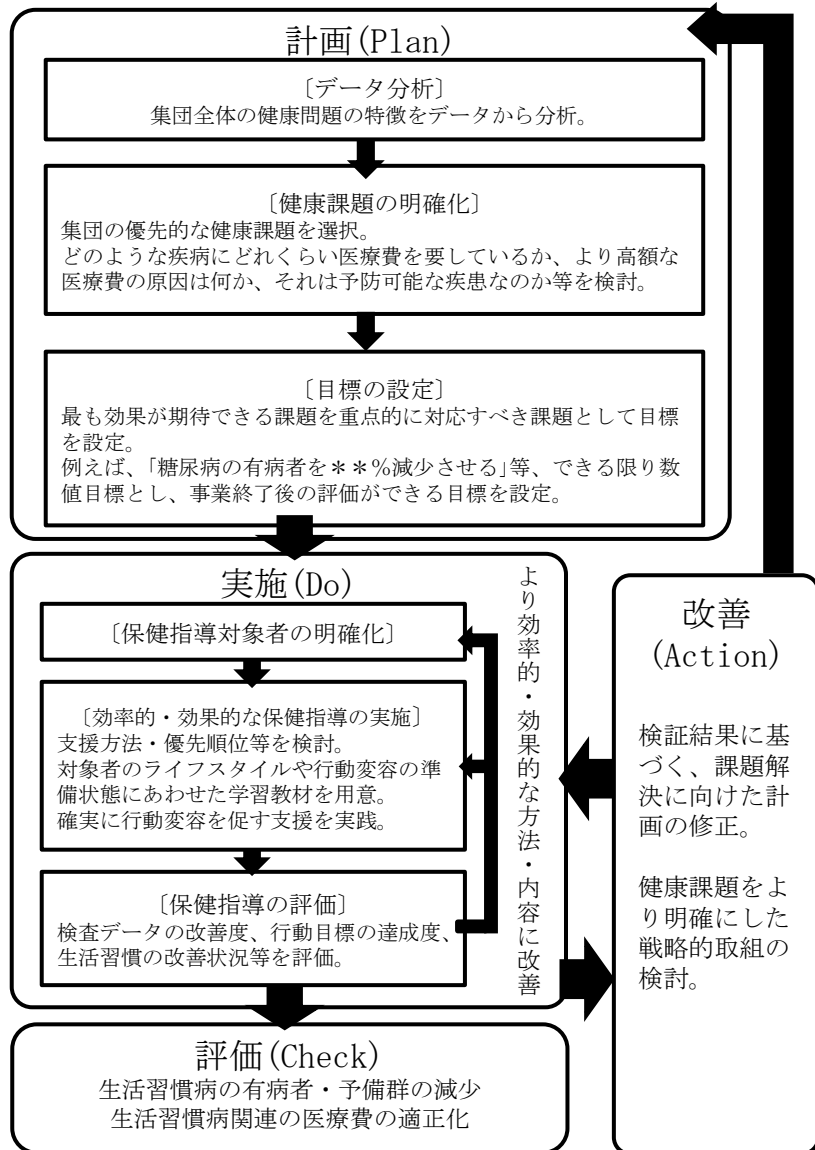
データヘルス計画ー平成28年度版 見直し計画ー		
1. データヘルス計画ー平成28年度版 見直し計画ーの目的と背景		1
2. データヘルス計画にて判明した課題と施策等取組状況		2
(1) 判明した課題		2
(2) データヘルス計画書に記載したデータの最新データ(抜粋)について		2
(3) 施策一覧と平成28年度の実施状況		7
3. 計画の評価について		9
4. 平成29年度に行うべき主な施策		12

1. データヘルス計画－平成28年度版 見直し計画－の目的と背景

データヘルス計画とは、特定健診およびレセプト等を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画である(図表①)。

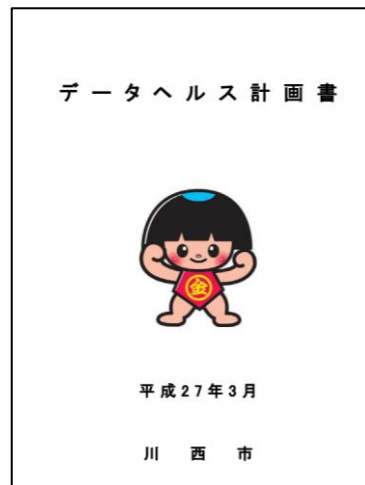
本データヘルス計画－平成28年度版 見直し計画－は、平成26年度末(平成27年3月)に策定したデータヘルス計画(図表②)の実施状況の評価、平成27年度末(平成28年3月)に策定したデータヘルス計画－見直し計画－(図表③)の実施状況の評価、また平成28年度中に実施した医療費分析結果に基づき、保健事業の計画、目標値の見直し等を主な目的とする。

(図表①) PDCAサイクルに沿った保健事業



出典：標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】

(図表②)川西市データヘルス計画書
イメージ(平成27年3月策定)



※川西市ホームページにて公開中

(図表③)川西市データヘルス計画書
－見直し計画－イメージ
(平成28年3月策定)



※川西市ホームページにて公開中

2. データヘルス計画にて判明した課題と施策等取組状況

(1) 判明した課題

データヘルス計画にて判明した課題を以下に示す。

- 【課題1】若年層の特定健診受診率が低い状態であるため、若年層の受診率向上に向けた取り組みが必要となる。
- 【課題2】LDLコレステロール値が県下で最も高い状態であるため、LDLコレステロールの危険性、改善方法を広く市民に周知することが必要となる。
- 【課題3】特定保健指導の利用率がまだ低い水準であるため、特定健診だけでなく保健指導を受けることの大切さを市民に周知する必要がある。
- 【課題4】前期高齢者の割合が多い状況の中、一人当たり医療費はかなり抑えられているものの、高齢化が進み医療費の増加が見込まれるため、さらなる医療費削減への取り組みが必要となる。
- 【課題5】「脂質異常症」に係る入院及び外来の医療費が同規模自治体よりも高いため、その危険性、改善方法を広く市民に周知することが必要となる。
- 【課題6】運動習慣のある人が県平均より高いのにも拘わらず、20歳時体重から10kg以上増加している人が県平均を上回っているため、食生活に関する情報提供及び効果的な保健事業を実施することで食生活改善の意識づけを図る必要がある。

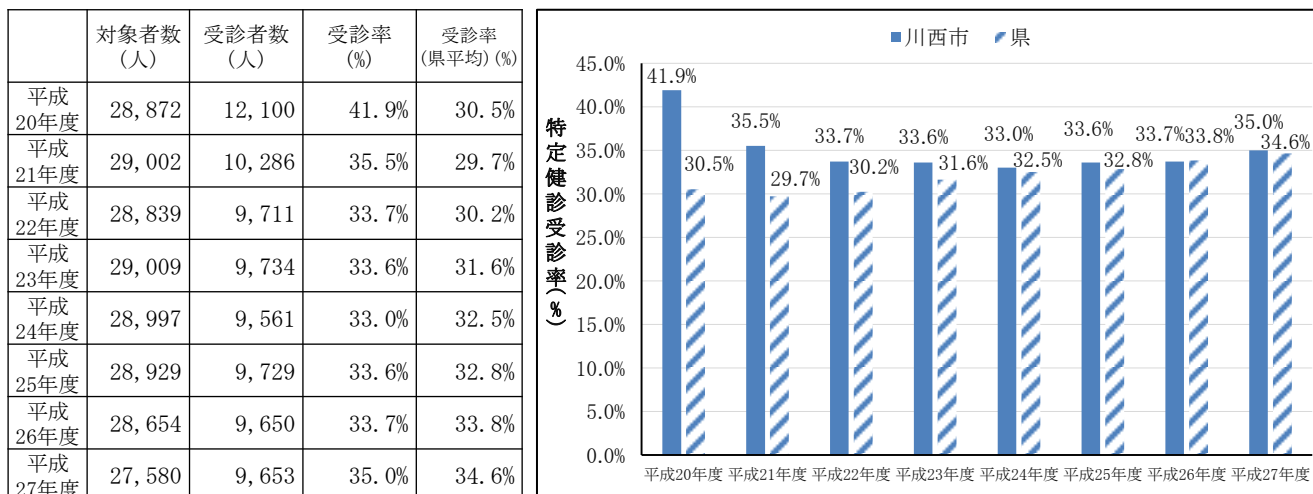
(2) データヘルス計画書に記載したデータの最新データ(抜粋)について

データヘルス計画書に記載された本市における平成25年度までの状況を再掲するとともに、平成26年度及び平成27年度の状況を以下に示す。平成26年度はデータヘルス計画に基づく施策の反映前であるが、平成27年度はデータヘルス計画に基づく施策の効果が反映されている。

① 特定健診受診率

平成26年度に初めて、特定健診の受診率が県の平均を0.1%下回ったが、平成27年度には県の平均を0.4%上回った。

データヘルス計画書P 3【表2 特定健診対象者数、受診者数、受診率】



また、年齢階層別の特定健診受診率をみると若年層(40歳～54歳)の受診率が平成26年度から平成27年度にかけて増加傾向にあるが、依然として低く全体の受診率を押し下げる要因となっている。

年齢階層別 特定健診受診率

	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	全体
平成20年度	18.6%	19.1%	22.3%	30.5%	40.3%	50.0%	51.3%	41.9%
平成21年度	14.5%	16.6%	18.5%	24.8%	33.6%	42.6%	43.6%	35.5%
平成22年度	13.0%	15.1%	17.9%	24.1%	32.5%	40.2%	41.6%	33.7%
平成23年度	14.6%	15.2%	18.3%	26.0%	32.5%	38.9%	41.7%	33.6%
平成24年度	14.7%	15.2%	18.0%	23.0%	33.1%	38.3%	40.8%	33.0%
平成25年度	14.4%	16.5%	20.3%	23.0%	32.4%	39.0%	41.7%	33.6%
平成26年度	14.1%	14.9%	18.5%	24.8%	31.8%	39.9%	41.5%	33.7%
平成27年度	15.4%	16.4%	21.1%	26.2%	32.4%	40.8%	42.7%	35.0%

②メタボ該当者状況

前年度と比べて平成27年度についても順位や割合はほとんど変わっていない。

データヘルス計画書P4【表4 メタボ予備群(特定健診の腹囲の値が基準値を超えた人のうち他のリスクを1つ持つ人)】

順位	第1位		第2位		第3位		
検査項目	高血圧		脂質異常		高血糖		
	川西市	県	川西市	県	川西市	県	
割合	平成24年度	5.8%	7.0%	2.2%	2.7%	1.0%	0.7%
	平成25年度	5.6%	7.1%	2.5%	2.8%	0.8%	0.6%
	平成26年度	5.7%	7.0%	2.2%	2.6%	0.8%	0.6%
	平成27年度	5.9%	7.0%	2.2%	2.5%	0.6%	0.6%

KDBシステム『地域の全体像の把握』より(平成27年度のデータ抽出時点：平成29年1月)

データヘルス計画書P4【表5 メタボ該当者(特定健診の腹囲の値が基準値を超えた人のうち他のリスクを2つ以上持つ人)】

順位	第1位		第2位		第3位		第4位		
検査項目	血圧+脂質		血糖+血圧+脂質		血糖+血圧		血糖+脂質		
	川西市	県	川西市	県	川西市	県	川西市	県	
割合	平成24年度	5.6%	7.6%	4.4%	4.2%	2.6%	2.6%	1.1%	0.9%
	平成25年度	6.1%	7.9%	4.2%	4.2%	2.3%	2.5%	0.9%	0.8%
	平成26年度	6.4%	8.0%	4.2%	4.6%	2.5%	2.4%	1.0%	0.8%
	平成27年度	7.0%	8.0%	4.7%	4.8%	2.4%	2.5%	1.1%	0.9%

KDBシステム『地域の全体像の把握』より(平成27年度のデータ抽出時点：平成29年1月)

③有所見者状況

前年度と比べて平成27年度についても順位や割合はほとんど変わっていない。

データヘルス計画書P5【表6 特定健診結果で基準値を超えた検査項目とその割合】

順位	第1位		第2位		第3位		
検査項目	脂質(LDL)		血糖(HbA1c)		血圧(収縮期)		
	川西市	県	川西市	県	川西市	県	
割合	平成24年度	64.4%	57.4%	53.8%	55.0%	44.0%	47.4%
	平成25年度	62.6%	58.5%	58.0%	51.9%	42.6%	46.4%
	平成26年度	62.9%	58.0%	58.3%	56.4%	43.5%	46.8%
	平成27年度	61.6%	57.5%	59.8%	57.2%	43.2%	46.6%

KDBシステム(様式6-2～7)より(平成27年度のデータ抽出時点：平成29年1月)

④要医療者の階層化

平成27年度についても重度である要医療者については女性の方が多くなっている傾向は変わっていない。

データヘルス計画書P 6【表9 要医療者の階層化】

単位:人

要医療者(LDL180mg/dl以上) かつ医療機関未受診	40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～75歳		合計		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
平成25年度	10	6	10	8	20	58	9	48	49	120	169
平成26年度	17	4	6	17	30	128	31	49	84	198	282
平成27年度	14	5	11	21	36	121	26	52	87	199	286

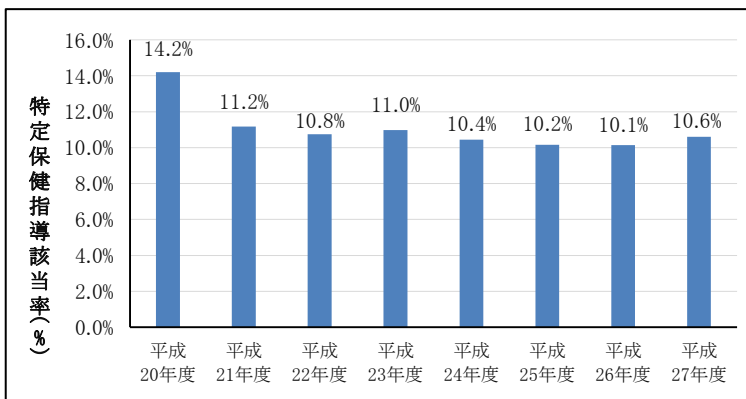
(26年度のデータは健診期間平成26年9月～平成27年8月健診分、レセプト期間平成26年8月～平成27年7月診療分で分析)
(27年度のデータは健診期間平成27年4月～平成28年3月健診分、レセプト期間平成27年5月～平成28年4月診療分で分析)

⑤保健指導対象者状況

特定健診の受診者に占める特定保健指導の対象者の割合が年々減少していたが、平成27年度は前年度より0.5%増加している。

データヘルス計画書P 8【表10 特定健診受診者数と特定保健指導対象者数の推移】

	特定健診 受診者(人)	特定保健指導 対象者(人)	特定保健指導 該当率(%)
平成20年度	12,100	1,718	14.2%
平成21年度	10,286	1,149	11.2%
平成22年度	9,711	1,044	10.8%
平成23年度	9,734	1,069	11.0%
平成24年度	9,561	999	10.4%
平成25年度	9,729	988	10.2%
平成26年度	9,650	979	10.1%
平成27年度	9,653	1,023	10.6%

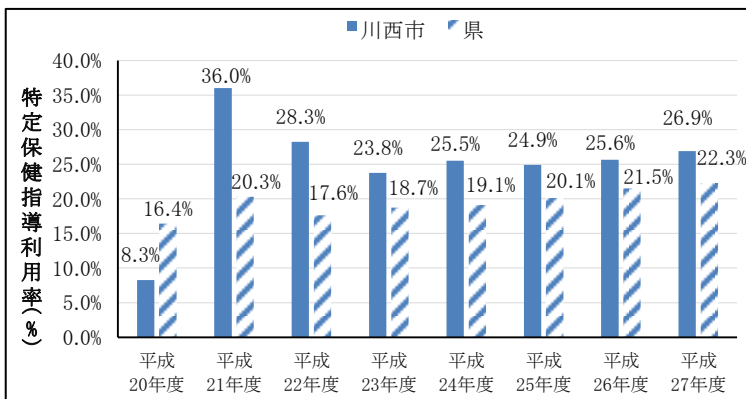


⑥特定保健指導利用状況

平成27年度においても、県平均を約4.6%上回っているが、まだ全体の3割に満たない。

データヘルス計画書P 9【表11 特定保健指導利用者数、利用率】

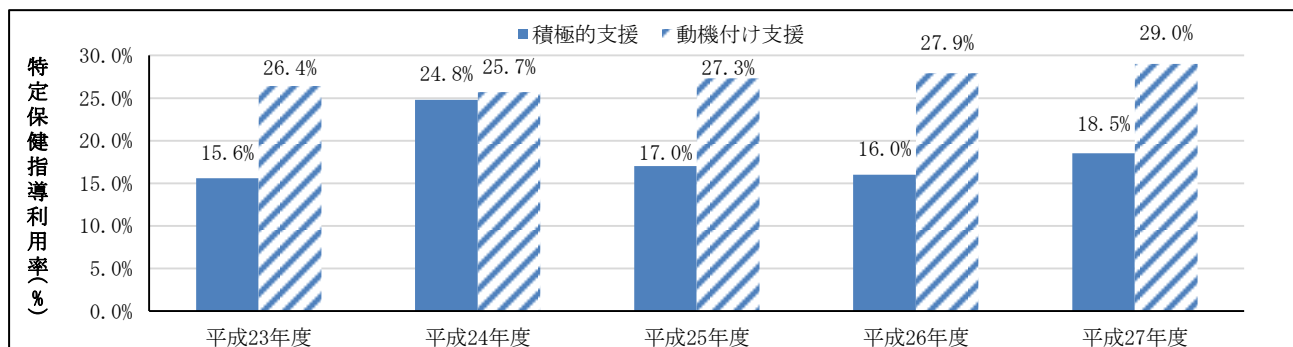
	対象者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	利用率 (県平均)(%)
平成20年度	1,718	142	8.3%	16.4%
平成21年度	1,149	414	36.0%	20.3%
平成22年度	1,044	295	28.3%	17.6%
平成23年度	1,069	254	23.8%	18.7%
平成24年度	999	255	25.5%	19.1%
平成25年度	988	246	24.9%	20.1%
平成26年度	979	251	25.6%	21.5%
平成27年度	1,023	275	26.9%	22.3%



⑦特定保健指導レベル別利用率

前年度に比べて平成27年度については「積極的支援」「動機付け支援」とも利用率が高くなっている。

データヘルス計画書P 9 【図7 特定保健指導利用率(積極的支援、動機付け支援)】



また、年齢階層別の特定保健指導利用率をみると平成27年度の「積極的支援」における50歳～54歳の利用率、「動機付け支援」における55歳～59歳の利用率が前年度と比較して大きく上昇しており、全体の利用率上昇の要因となっている。

年齢階層別 特定保健指導利用率(積極的支援)

	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	全体
平成25年度	11.1%	4.7%	8.6%	9.7%	31.8%	17.0%
平成26年度	11.1%	10.8%	4.8%	25.0%	21.5%	16.0%
平成27年度	15.2%	7.7%	20.0%	11.8%	26.0%	18.5%

年齢階層別 特定保健指導利用率(動機付け支援)

	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	全体
平成25年度	39.1%	15.0%	27.3%	17.4%	40.4%	31.1%	22.8%	27.3%
平成26年度	25.0%	20.8%	21.7%	15.0%	36.8%	29.4%	26.5%	27.9%
平成27年度	24.1%	14.8%	17.4%	31.8%	47.8%	28.0%	29.7%	29.0%

⑧一人当たり医療費

平成27年度においては、県平均よりも1,557円下回る結果となっており、かつ前期高齢者の割合が高いことを考慮すると一人当たり医療費はかなり抑えられていると考えられる。

データヘルス計画書P11【表12 一人当たり医療費】

単位:円

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
川西市	被保険者全体	309,129	326,393	328,282	343,546	350,106	365,532
	対前年度比		1.0558	1.0058	1.0465	1.0191	1.0441
	前期高齢者(65歳～74歳)	458,011	482,161	481,720	490,163	497,268	518,771
兵庫県	被保険者全体	316,531	326,274	332,525	340,536	350,534	367,089
	対前年度比		1.0308	1.0192	1.0241	1.0294	1.0472
	前期高齢者(65歳～74歳)	501,095	510,338	513,335	516,041	518,864	533,874

兵庫県：国民健康保険の状況(速報)より

データヘルス計画書P11【表13 前期高齢者の加入率】

	川西市	県
平成22年度	40.20%	33.68%
平成23年度	39.94%	33.66%
平成24年度	40.99%	34.99%
平成25年度	42.73%	36.97%
平成26年度	44.62%	39.39%
平成27年度	45.84%	41.20%

兵庫県：国民健康保険の状況(速報)より

(3) 施策一覧と平成28年度の実施状況

課題に対する保健事業の取り組みについての一覧を以下に示す。

	対応課題	事業名	事業の目的 および概要	平成28年度の実施状況
① 特定健診、 特定保健指導の 受診率の向上	1	特定健診未受診者への 勧奨はがきの送付	【目的】 特定健診、特定保健指導の受診率向上 【概要】 特定健診の未受診者に対して勧奨はがきを引き続き送付する。	特定健診未受診者15,791名に対し勧奨はがきを送付した。
	1	特定健診の啓発チラシの 全戸配布	【目的】 特定健診の受診率向上 【概要】 川西市内全世帯にリーフレットを配布する。	特定健診の受診を勧めるリーフレットを川西市内全世帯へ配布した。
	1	阪急バスでの車内放送による 特定健診の周知	【目的】 特定健診の受診率向上 【概要】 阪急バスの車内放送にて特定健診の周知を行う。	阪急バスでの車内放送で特定健診の周知を行った。
	1	特定健診未受診者への 電話勧奨	【目的】 特定健診の受診率向上 【概要】 特定健診の未受診者に対して電話勧奨を行う。	特定健診未受診者1,000名、40歳～64歳(1月～4月生まれで若い人順)に対して保健師による電話勧奨を行った。
	1、 3	出張特定健診	【目的】 特定健診の受診率向上 【概要】 出張特定健診を実施する。	コミュニティ主催の体育祭で出張特定健診を実施。5月、6月、10月の計3回
	1	人間ドック費用の助成	【目的】 特定健診の受診率向上 【概要】 被保険者の人間ドック費用を一部負担。	人間ドック費用の助成を継続した。
	1	がん検診費用の無料化	【目的】 特定健診の受診率向上 【概要】 一部がん検診について被保険者の負担費用を無料にする。	がん検診費用の無料化を継続した。
	1	親子イベントの開催	【目的】 子育て世代(主に30代、40代)の特定健診受診率向上 【概要】 イベントを通じて、特定健診を受診するきっかけ作りをする。	12月にアステ市民プラザで実施した。

	対応課題	事業名	事業の目的 および概要	平成28年度の実施状況
② ハイリスク アプローチ	2、 5	保健指導 (LDLコレステロール値 に基づく)	【目的】 LDLコレステロール値が高い 被保険者の減少 【概要】 LDLコレステロール値等に 基づき対象者を特定し保健指導 を実施。	LDLコレステロール値が180mg/dl以上 で脂質異常に関して医療機関に受診して いない263名に対し、脂質異常重症化予防 プログラムを案内するとともに、医療機 関への受診勧奨を行った。
	2、 5	特定健診結果及び 医療費の分析	【目的】 リスクの高い者に対する保健指 導や未罹患者に対する早期発見 【概要】 生活習慣病罹患者の重症度やコ ントロール状況を詳細に分析し 具体的な施策を検討する。	データヘルス計画の見直しに向けてポテ ンシャル分析を行い、本市の特定健診結 果や医療費の現状や傾向を分析し、次年 度の保健事業内容を検討した。
	4	受診行動適正化事業	【目的】 重複受診に伴うリスク等の減少 【概要】 重複受診が確認できる対象者を 特定し、訪問指導を行う。	1か月間で同系の疾病を理由に3医療機関 以上受診している患者に対して、国民健 康保険課職員と保健師が訪問を行った。
	4	糖尿病等重症化 予防プログラム	【目的】 人工透析への移行を阻止する。 【概要】 2型糖尿病で顕性腎症期の患者 へ保健指導を行う。	かかりつけ医と連携し、プログラムを実 施した。
③ ポピュレーション アプローチ	1	健幸政策室と連携した 健康に対する意識向上の取組	【目的】 健康への意識を向上 【概要】 健康づくり室と連携した健幸マ イレージ、きんたくん健幸体操 の普及など。	特定健診や人間ドックの受診については、 健幸マイレージの「健診受けたよポイント 」を継続し、新たにかん検診の受診につ いて「がん検診受けたよポイント」を設け た。
	4	ジェネリック医薬品の 普及促進	【目的】 ジェネリック医薬品の利用率向 上及び医療費削減 【概要】 ジェネリック医薬品について広 く市民へ周知する。	ジェネリック医薬品希望シールを作成し、 保険証の更新分の発送時や限度額適用認 定証の発送時に同封した。
	6	健康づくりを推進する 市内飲食店のサポート事業	【目的】 市民の健康への意識向上 【概要】 カロリー表示やヘルシーメ ニューの提供をしている市内の 飲食店をホームページで市民等 に周知する。	平成28年度に、事業内容について検討を 行った。平成29年度実施予定。
	全 課題	データヘルス計画の周知	【目的】 市民の健康への意識向上 【概要】 データヘルス計画を公表・周知 する。	データヘルス計画をホームページに掲載 し、広く周知した。

3. 計画の評価について

課題に対する評価方法について、一覧を以下に示す。

① 【課題1】に対する施策の評価

- ・ 特定健診の受診率(特に40歳・50歳代の受診率)

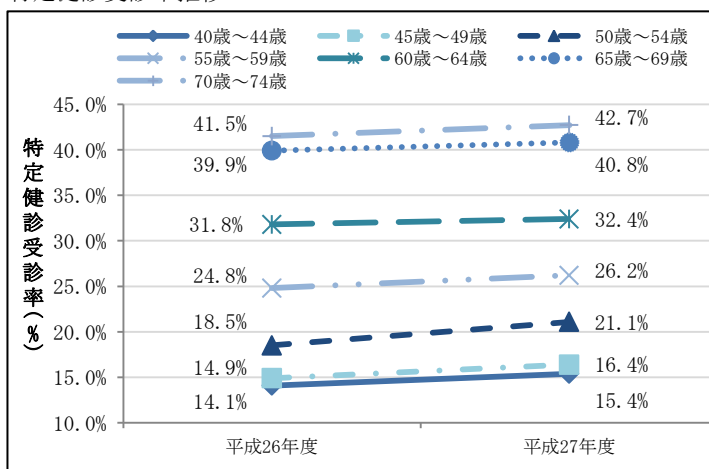
「平成27年度の評価」

平成26年度から平成27年度にかけて受診率が上昇している。全ての年齢階層で受診率が上昇しているが、特に50歳～54歳の受診率が上昇しており、2.6%上昇している。

特定健診受診率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
40歳～44歳	14.4%	14.1%	15.4%
45歳～49歳	16.5%	14.9%	16.4%
50歳～54歳	20.3%	18.5%	21.1%
55歳～59歳	23.0%	24.8%	26.2%
60歳～64歳	32.4%	31.8%	32.4%
65歳～69歳	39.0%	39.9%	40.8%
70歳～74歳	41.7%	41.5%	42.7%
全体	33.6%	33.7%	35.0%

特定健診受診率推移



「平成28年度の評価」

平成28年度実施分の評価については、法定報告の最終報告期限である平成29年10月以降に行い、来年度作成の第2期データヘルス計画(仮)に掲載する。

② 【課題2】，【課題5】に対する施策の評価

- ・ LDLコレステロールが高い指導対象者の医療機関受診率

「平成27年度の評価」

〈医療機関受診率〉

指導対象者282人のうち、国保の資格が継続中の274名に対して分析を行った。274名中73人(約27%)が平成28年1月～平成28年4月の間に脂質異常に関して医療機関にかかっていた。

〈プログラム参加者〉

プログラム参加者22名のうち、平成28年度の特定健診を受診済の11名について分析を行った。LDLコレステロール値が平均56mg/dl下がっており、階層が3段階下がった人が2名、階層が2段階下がった人が3名、階層が1段階下がった人が4名、階層が1段階上がった人が1名、階層に変化がなかった人が1名であった。

「平成28年度の評価」

平成28年度実施分の評価については、LDLが高値である人に対する脂質異常重症化予防プログラムを開始したのが平成28年11月以降となるため、レセプトが確認できる平成29年5月以降に評価し、来年度作成の第2期データヘルス計画(仮)に掲載する。

③ 【課題3】に対する施策の評価

・特定保健指導の利用率

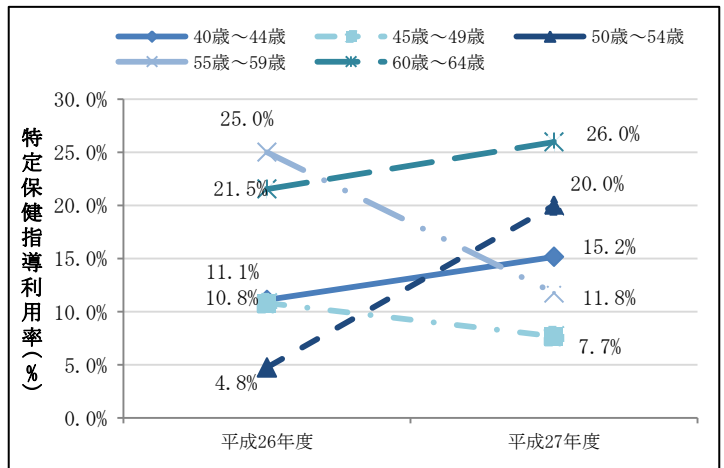
「平成27年度の評価」

平成26年度から平成27年度にかけて「積極的支援」、「動機付け支援」ともに利用率が上昇している。「積極的支援」は特に50歳～54歳の利用率が上昇しており15.2%上昇、「動機付け支援」は特に55歳～59歳の受診率が上昇しており16.8%上昇していた。

特定保健指導利用率(積極的支援)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
40歳～44歳	11.1%	11.1%	15.2%
45歳～49歳	4.7%	10.8%	7.7%
50歳～54歳	8.6%	4.8%	20.0%
55歳～59歳	9.7%	25.0%	11.8%
60歳～64歳	31.8%	21.5%	26.0%
全体	17.0%	16.0%	18.5%

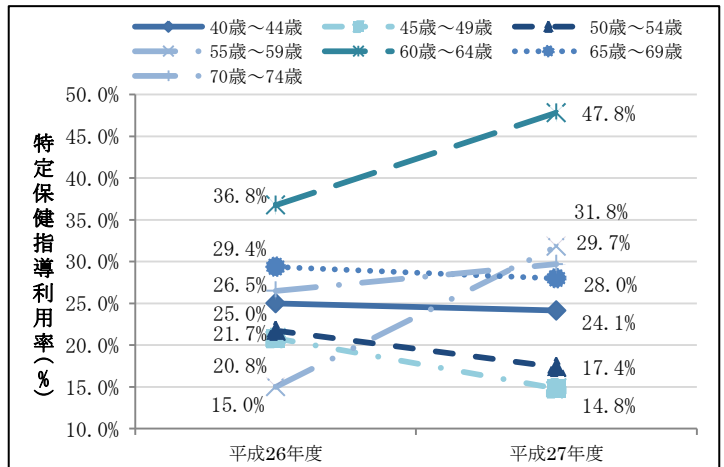
特定保健指導利用率推移(積極的支援)



特定保健指導利用率(動機付け支援)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
40歳～44歳	39.1%	25.0%	24.1%
45歳～49歳	15.0%	20.8%	14.8%
50歳～54歳	27.3%	21.7%	17.4%
55歳～59歳	17.4%	15.0%	31.8%
60歳～64歳	40.4%	36.8%	47.8%
65歳～69歳	31.1%	29.4%	28.0%
70歳～74歳	22.8%	26.5%	29.7%
全体	27.3%	27.9%	29.0%

特定保健指導利用率推移(動機付け支援)



「平成28年度の評価」

平成28年度実施分の評価については、法定報告の最終報告期限である平成29年10月以降に行い、来年度作成の第2期データヘルス計画(仮)に掲載する。

④ 【課題4】に対する施策の評価

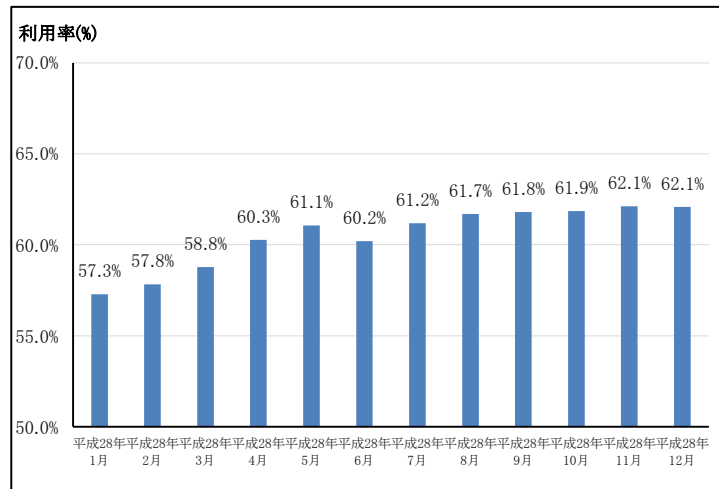
- ・ジェネリック医薬品の利用率

平成28年1月時点と比べると、12月時点では4.8%ジェネリック医薬品の利用率が上がっている。

ジェネリック医薬品利用実態

調剤月	医薬品利用数(後発医薬品が存在する薬のみ)		
	全体	ジェネリック 医薬品	ジェネリック 医薬品利用率(%)
平成28年1月	43,057	24,663	57.3%
平成28年2月	45,279	26,182	57.8%
平成28年3月	49,275	28,963	58.8%
平成28年4月	46,041	27,747	60.3%
平成28年5月	43,282	26,428	61.1%
平成28年6月	43,997	26,487	60.2%
平成28年7月	43,254	26,465	61.2%
平成28年8月	42,547	26,247	61.7%
平成28年9月	42,184	26,068	61.8%
平成28年10月	43,932	27,174	61.9%
平成28年11月	44,278	27,502	62.1%
平成28年12月	44,575	27,672	62.1%

ジェネリック医薬品利用率



⑤ 【課題6】に対する施策の評価

- ・特定健診受診者の問診結果で「20歳時体重から10kg以上増加している」と回答した人の割合
「平成27年度の評価」

平成27年度の回答率26.3%は、平成26年度の26.2%より0.1%上昇した。

「平成28年度の評価」

平成28年度実施分の評価については、法定報告の最終報告期限である平成29年10月以降に行い、来年度作成の第2期データヘルス計画(仮)に掲載する。

4. 平成29年度に行うべき主な施策

- ①LDLコレステロールが高値の人で医療機関を受診していない人に対する受診勧奨及び保健指導を継続実施する。
- ②平成28年度のLDLコレステロール受診勧奨対象者の健診結果や医療機関への受診状況などを分析する。
- ③糖尿病性腎症の重症化予防のために受診勧奨や保健指導を行う。
- ④平成28年度の糖尿病性腎症の重症化予防事業参加者の健診結果等を分析する。
- ⑤株式会社タニタヘルスリンクの講師を招いて、健康に関する講演会を実施する。(平成29年9月)
- ⑥40歳になり初めて特定健診を受ける人へ新たに通知文書を送付する。
- ⑦カロリー表示やヘルシーメニューの提供をしている市の飲食店をホームページで周知し、その取り組みをサポートする。

川西市データヘルス計画書

－平成28年度版 見直し計画－

平成29年3月

発行 川西市 健康福祉部 長寿・保険室 国民健康保険課

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号

TEL : 072-740-2006

FAX : 072-740-1176

E-mail : kawa0025@city.kawanishi.lg.jp